

令和元年度 第4回霧島市中小零細企業振興会議（議事要旨）

開催日時	令和元年5月28日（火）13:15～	
開催場所	霧島市役所行政庁舎別館大会議室	
出席者	委員	今給黎 正己 委員、重久 真一 委員、津田和 亨 委員、植山 吉将 委員、山田まゆみ 委員、西重 保 委員、酒匂 亮一 委員、佐々木 こずえ 委員、小池 建一郎 委員、小川 貴弘 委員、前田 義朗 委員、大山 隆弘 委員、藤山 准一 委員、濱田 健 委員、中西 孝平 委員
	事務局	武田 商工観光部長、池田 商工振興課長、梶 主幹兼商工観光政策グループ長、飛松サブリーダー、山中 主任主事、宮之原 主事
<p>会次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 商工観光部長あいさつ</p> <p>3 委員等紹介</p> <p>4 報告</p> <p>（1）第3回会議概要の報告</p> <p>5 議事</p> <p>（1）平成30年度施策実績及び平成31年度（令和元年度）計画（商工振興関係）</p> <p>（2）部会テーマ協議</p> <p>（3）平成31年度（令和元年度）の会議内容および計画等</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p>		
<p>1 開会</p> <p>2 商工観光部長あいさつ</p> <p>任期2年の第2期2年目を迎えた。市の中小零細企業の持続的発展、そして地域経済の活性化のために引き続きご協力をいただきたい。</p> <p>3 委員等紹介</p> <p>前任者の残任期間で新たに委嘱した委員2名の紹介及び事務局職員の紹介を行った。</p> <p>4 報告</p> <p>（1）第3回会議概要の報告</p> <p>5 議事</p> <p>（1）平成30年度施策実績及び平成31年度（令和元年度）計画（商工振興関係）</p> <p>【要旨】</p> <p>・実績資料をもとに以下の事業の30年度実績と31年度計画を、各担当からご説明 （商工業資金利子補給補助金、新市場開拓支援補助金、創業支援センター、空き店舗等ストックバンク事業、空き店舗等活用販わい創出支援事業、持続化支援事業補助金、生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画の認定、商店街活性化事業補助金、立地企業支援事業、学生就職支援プロジェクト）</p>		

主な委員意見等

【委員】

・創業スクールについて、別の自治体においても会議所、商工会を中心に複数回シリーズで開催しているが、最終回に、創業した以前の講座修了者も交えての交流会を開催していた創業者当初は少ない販路や人脈を広げる意味でもよい取り組みである。その効果か、毎回定員を超える応募があるようである。

・大学生でも、会社を興したいという学生もいるが、実際には今興すことは難しいので、今のうちから、創業のきっかけとして、経営者に会う、また創業するにはどのようなことが必要なのか等を学ぶ場を作っておいて、5年後、6年後に社会に出て、起業するという選択肢の垣根を低くしておくという取り組みも大事だと思っている。現在の行政においては、既に働いている方が中心で、まだ社会にも出ていない層へのアプローチも必要である。(段階的な事業の展開)

【事務局】

・創業予定者以外へのアプローチも大事であり、国においては、創業予定者だけではなく創業無関心者層（高校生等を含む）を対象を広げ起業家教育を行い創業者数を伸ばそうという取り組みをすすめている。現在、霧島市では「創業しやすい環境整備」として市総合計画に基づき力を入れて取り組んでいる。また、この国の動きに合わせて、国の認定を受けている創業支援等事業計画に、このような無関心層への創業機運醸成のための事業を追加した計画変更の申請をしているところである。内容は、実施主体は商工会、商工会議所で、高校生向けの起業（商売）体験をする創業スクールを計画している。

【委員】

・当行で鹿児島市と提携した創業支援の取り組みを行っている。創業者への資金面等を含めた支援だけで終わるのではなく、創業者倶楽部（現在会員が約300）を作って、セミナーや異業種交流会を行い創業後のフォローを行っている。自治体でも創業後のフォローも大事だと考える。

(2) 部会テーマ協議

【要旨】

以下3点について承認。

・「人材確保検討部会」は、取りまとめた一覧表をもとに担当部局へ意見として繋ぎ、施策の参考にしてもらうということで終了。

・第5回振興会議で予定している「提言書内容の取組状況に対する評価検討」をよりスムーズにそして効果的な評価や検討とするための事前の作業部会として新たに「提言書取り組み評価検討部会」として開催。

・支援機関を中心とした部会員とする。(霧島商社、霧島市商工会、霧島商工会議所、鹿児島相互信用金庫から各1名) 部会長は、会長から大山委員を選任。

主な委員意見等

【委員】

・意見なし

(3) 平成31年度(令和元年度)の会議内容および計画等

【要旨】

平成31年度予定は以下の通り。(承認)

- ・提言書取り組み評価検討部会を1回～3回(6月～9月)
- ・第5回振興会議(9月から10月頃)
提言書の取組状況の報告を受けての評価検討の協議等
- ・運営部会
第2期会議報告のまとめ、第3期の会議方針の協議等
- ・第6回振興会議

主な委員意見等

【委員】

- ・平成31年度計画の部会予定や部会員について説明が欲しい。

【事務局】

・(資料11p参照)承認を経た内容で補足説明する。振興会議は3回行う。運営部会は任期2年間を通じて依頼しており昨年度第1回を開催したがその際と同じ部会員で今年度第2回を開催する。人材部会は今年度開催しない。その他の部会として今年度は新たに提言書取り組み評価検討部会を1回～3回開催する。(資料11pでは、提案により2つの新たな部会を開催することとなった場合を想定し、A、B欄を設けていた)

【委員】

・委員15名が話し合うことによってそれぞれの事業者の売上が1円でもあがるのか、というシンプルな視点にもこだわりたい。その他、霧島市の事業者が5年後、10年度事業が継続できているのか、景気はどうなっていくのかなど。

・弁当販売の事業を始めたいと県外から勉強に来た。この会議に参加して知った国や自治体及び商工会等の支援機関の活用できる様々な創業支援をアドバイスした。

・会議の一番の目的は中小零細企業の底上げであり、1円でも2円でも売上を上げられる協議ができればよいと考えている。可能な面で大企業も支援ができないか検討していきたい。

霧島市は知ると素晴らしいモノが多い。知名度が高いとは思えないので、高めることが必要。

・大河ドラマ終了の影響で観光客が減っていると聞く。今後3年くらいは国体の良い影響もあると思う。5年後10年度はわからない。更にいうと人手不足等も懸念される。労働力を増やすまたは補うようなシステムが必要と感じている。

・国や県、市も事業者支援を行っている。利用方法が分からないと悩む事業者も多いと思う。市も多く取り組んでおり、2年前に採用した生徒も市の事業の参加者であった。継続して取り組んで欲しい。

・1円でも売上につながっていくような取り組みをこの会議でできればと感じた。

・会社自体が強くなっていかないと生き残っていけない時代となってきていると感じている。国の補助事業などがあれば事業者は利用しない手はない。様々なそのような事業をこの会議を通じて発信していければよいと考える。

6 その他

【事務局】

・次回の中小零細企業振興会議は、9月24日の週を中心に第5回の会議を開催予定。事前に日程確認の上、開催日程を決定。提言書取り組み評価検討部会は、部会長を中心に6月から9月頃で日程調整する。

【委員】

・霧島ガストロノミー推進協議会は、霧島の産学官連携により構成しており、霧島の食の資源を活かしブランド価値を向上させようという取り組みをしている。(霧島の食の方法性に沿った商品や活動を霧島ブランドに認定する事業(ゲンセン霧島)、霧島の美味しいを包んだ霧島つつみの紹介(募集等))

・会議の目的は、最終的には市への提言でよいが、事業者が委員として参画しており、タイムリーな課題などを聞くことができるので、協議テーマを絞る前に、それらの意見を自由に発言する機会(時間)を増やすと、効果的な意見がでるなど、よりよい会議となると考える。

7 閉会